



株式会社 IDCフロンティア



**ウォーキングで
期間内に歩数達成した社員を表彰**

健全な経営には働く 社員の健康が重要

株式会社IDCフロンティアはシステムエンジニアが多く、座りながらパソコンと向き合う業務が多い。そこで、健全な経営には働く社員の健康が重要であるという会社としての考えのもと、社員の健康増進を目的としたプログラムを導入している。

代表的なのは、本社のある東京と西日本の最大拠点である北九州データセンター間の距離にちなみ、5か月間で約1,030km相当の歩行踏破を目標とした、インセンティブ付のウォーキングプログラムだ。

本プログラムは業務時間内にこだわらずプライベートも対象としており、スマートフォンのアプリを利用した歩数計測や、目標達成者へは表彰と旅行やテーマパークチケットなどのインセンティブも取り入れることで多くの社員の参加を促している。また、上級者には東京-沖縄間の約1,555kmや初級者向けの400kmコースも用意。参加者の不公平感や、参加までの心理的ハードルが高くなるように工夫し、ウォーキングプログラムの実施期間を延長したり、ショートプログラムを追加するなどして新規参加者も呼び込めるようにしている。

5か月間で
北九州まで歩こう

東京本社から北九州データセンター
までの距離 1,030 km！目標歩数は
1,287,500 歩！

スマートフォンアプリを
利用した歩数計測



所在地
新宿区

業種
情報通信業

総従業員数
非公表

経営の思いを具現化するために様々な
アイデアが出され、実行、運営

自転車通勤のトライアル実施

本社敷地内に専用の駐輪エリアを設け、自宅から会社まで自転車にて通勤することを推奨。自転車保険の加入と運転の心得を遵守してもらい、その間も鉄道・バス利用の交通費を支給。自転車通勤の社員は気分転換、ストレス解消になっている。

健康促進グッズのオフィス利用推奨

社員、特にエンジニアや内勤の社員への腰痛対策や運動不足解消として、自席の椅子代わりとしてバランスボールを認めたり、リフレッシュルームにマッサージチェアやフィットネス機器を用意するなど運動不足解消グッズを自由に利用できる環境を整えている。



階段移動推奨

平成 17 年に本社を現在の場所に移転してから、オフィスフロア間の階段移動を推奨。併せて階段移動推奨の掲示もすることで、役職関わらず全社員が階段にてフロア間を移動している。

① ツール・ド・東北* スポンサー

ITにできることは、世の中を便利に、快適にすることだけではないはず。もっと“みんなの笑顔を増やしたい。”という想いで、東日本大震災復興支援の一環としてツール・ド・東北に協賛している。

*株式会社河北新報社、ヤフー株式会社が主催する自転車イベント

② ツール・ド・東北 社員がライディングに参加

スポンサーとして協賛しながら、社員もライダーとして参加。ライダーにはユニフォームと交通費を支給している。

③ ツール・ド・東北 ライダー応援ツアー

全社を挙げてライダーを応援するための応援ツアーも実施。応援者の交通費支援も行った。

当日は、社員ライダーのみならずあらゆるライダーを応援し、大会を盛り上げた。



その他の 取組

STAFF'S VOICE

何よりも「継続」が大切と考えています。

例えばウォーキングプログラムは、1回目は46名だった参加者が、2回目は83名となり倍増しました。

社内外への情報発信や賞品のグレードアップ、参加者同士のライバル意識の芽生えなど、社内でムーブメントを引き起こせたのではと考えています。参加率 100%を目指して、今後も取組を続けていきたいと思えます。